

沖縄も 本土も

名護に最新巨大基地、岩国は極東最大の米軍基地に 米軍大増強—「どこが負担軽減か」 (仁比議員)

「ジュゴン」のすむ美しい海に巨大基地が建設され、2本の滑走路が造られる」「普天間の機能移転だけで済まない。まさに増強だ」——。日本共産党の仁比聡平議員は2月6日の参院予算委員会、沖縄・岩国の米軍基地問題と秘密保護法について安倍首相をただしました。基地問題の質問から要旨を紹介します。

孫子の代まで米軍基地強要、前例のない大増強も…仁比議員 移設なので「新基地ではない」…防衛相

仁比議員は名護市辺野古への新基地は単なる普天間「代替」基地ではなく、最新鋭の巨大基地になることを厳しく批判。

エアクッション型揚陸艇(LCAC)の上陸路が計画されていること、米国防総省が1997年の報告書で「運用40年、耐用200年」の設計を求めている事実を示し、272



メートルの護岸に、オスプレイを搭載する強襲揚陸艦ボノム・リシヤールが接岸できることも指摘しました。

さらに、辺野古への新基地建設と、岩国基地(山口県)へのKC130空中給油機と空母艦載機部隊の移設を取り上げ、「普天間基地の機能『移転』ではすまない。まさに『増強だ』と厳しく批判しました。

●仁比議員 孫、ひ孫の代まで米軍が(沖縄に)居座り続けるもので、これがなぜ「負担軽減」か。(岩国基地も)前例のない大増強で「沖縄の負担軽減」にならない。普天間基地は無条件に撤去すべきだ。

岩国「移駐」後も、伊江島訓練すると防衛省が言っている…仁比議員 日米同盟の中で何が起きるか話せない…防衛相

仁比議員は、沖縄の「負担軽減」策の一つとされる普天間基地のKC130の岩国基地移駐に言及。防衛省が岩国市議会全員協議会で「伊江島補助飛行場での訓練は引き続きおこなわれる」と明言していることを暴露し、沖縄に飛来せず訓練もしないという保障はないと厳しく指摘。小野寺五典防衛大臣は「そういう事態が起きないと明言するのはむしろ不誠実だ」と述べ、移駐後も伊江島などでの訓練の可能性を否定できませんでした。仁比議員は、「沖縄の負担軽減にはならないじゃないか!」と、厳しく抗議しました。

●仁比議員 KC130全15機を移駐することが沖縄の負担軽減になると言う。(KC130が)もう沖縄の基地に飛来したり、沖縄の演習場で訓練しないという保証があるのか。

○小野寺大臣 なるべく沖縄のみなさんに迷惑を掛けないよう、米側にも運用に気をつけてもらう。日米同盟の中で、何が起きるか現時点で話せない。

●仁比議員 岩国へKC130を「沖縄の負担軽減」と押し付けながら、移駐後も岩国から沖縄へ行って訓練をすると。何も変わらないじゃないか。

基地周辺の人々には大変な苦痛も。安全保障のため、ご理解いただいている…安倍首相 沖縄の耐え難い苦しみをも日本全国に広げると言うに等しい…仁比議員

岩国基地に配備されている米軍機は何機あり、これから何機体制になるかの問いに、小野寺大臣は「約50機。移駐後は120機程度になる」と答弁。仁比議員は、軍用機数は2.5倍化、在日米軍基地で最多の嘉手納基地をしのいで極東最大規模の米軍基地になると批判しました。

が飛躍的に増大する。騒音被害の軽減という趣旨にも反する。

○安倍晋三首相 日本
の安全保障政策のため
にご理解をいただいで
いる。



●仁比議員 前例のない大増強だ。沖縄にその岩国から飛んでいくとなれば、沖縄の負担軽減にもならない。今でさえ爆音は筆舌に尽くしがたい。被害

●仁比議員 沖縄の耐え難い苦しみを本土に広げると言っているに等しい。

